

蕪 工 ニュース

山梨県立蕪崎工業高等学校 総務・企画
第 47 号 2008.10.01

本年度の就職状況

インターハイ報告 山岳部・レスリング部

全国総文祭の結果報告 写真部

電気工事コンテスト関東大会出場

本年度の就職状況: 厳しい状況

三年生は自身の進路を決定するときが来た。今年度は就職 101 人、進学 58 人となり、進学希望者が昨年度よりやや増加に転じた。東京エレクトロン、東京電力、三菱重工、新日鐵、ホンダなど大企業を含め、9 月 1 日に 63 社宛に 91 名の応募書類の発送を完了した。

今年度の高卒者の求人状況について、端的に言うと厳しくなっているという状況にある。本校に関する県内求人は、148 件 (81 人) である。平成 19 年度が 191 件 (235 人)、平成 18 年度が 159 件 (188 人)、平成 17 年度が 143 件 (179 人) という状況であった (() 内は求人数)。昨年度と比べると、二割超の減である (同期比)。本校のみの有効求人倍率は二倍を確保しているものの、ここ数年上向き傾向にあった求人が減少に転じた。

年度当初、新卒者については企業の採用意欲は落ちていない (職業安定所談) とのことで、期待感を持っていた。多くの採用担当者との面談の中で、景況感の不透明さを禁じ得ないが、新卒者の求人は昨年度と同様な水準で計画しているとの話が聞けた。その背景には、団塊の世代の大量退職が続いていること、現場の技術・技能とそのノウハウを確実に次の世代へ引き継いでいくためには、年齢層を偏らせないようにすること、などがあつた。しかし、夏以降の米国サブプライムローンによる金融破綻や原材料費高騰による経営圧迫が企業の新卒者に対する採用意欲に、予想以上に悪影響を及ぼしている。このような状況下においては、企業はより厳しく人選を行う。生徒諸君は、模擬面接などで、準備し身に付けてきたことを再度点検し、より緊張感を持って入社選考に臨んでもらいたい。



インターハイ報告 山岳部: 全国6位入賞

6 位入賞を果たすことができました。選手は自分の力、お互いの力を信じてこの夏、初のインターハイを終えました。埼玉の暑さに体力的にも精神的にプレッシャーを受けましたが、「勝ちたい」という気持ちで 4 日間戦い抜きました。特に選手の能勢悠聖 (3-1) と中込祥 (3-5) は 1 年生のときから先輩達のいないこの蕪工山岳部に 2 人で入り、数々の経験をしてきました。挫折しそうになったことも何度もありました。しかし、最後の最後まであきらめませんでした。その結果が今回のものだと感じています。齋藤晃介 (2-6) や丸山浩 (1-4) も選手として、そんな先輩達を一生懸命サポートしていました。閉会式では全国代表として壇上に立ち立派な姿で賞状をもらうことができました。みなさんの応援ありがとうございました。



レスリング部:石原・米山5位入賞

レスリング部は、この夏休み中の8月1日～4日にインターハイへ、17日～19日に全国高校グレコ選手権大会へ参加しました。埼玉県で行われたインターハイの団体戦は、1回戦は東海地区1位である静岡県代表の飛龍高校に敗れてしまいました。個人戦へは5階級に出場し3名が初戦を勝ち上がりましたが、次の2回戦で3名とも敗れてしまう残念な結果でした。大阪府で行われた全国高校グレコ選手権へは8名



が参加し、55kg級の石原拓朗(2-1)と66kg級の米山聡教(3-6)が4回戦を勝ち上がり、石原は2位となった選手に、米山は優勝した選手に惜しくも敗れましたが、5位入賞を果たしました。また、7月の25日からウズベキスタン共和国で行われたアジアカデット選手権に出場した米山聡教は強豪イラン選手に勝つなどして5位に入賞を果たしました。レスリング部は、この後に大分県で開かれる国民体育大会へ4



名の者が出場します。この夏の雪辱を期待したいと思います。

全国総文祭の結果報告 写真部

全国総合文化祭群馬大会が8月6日から群馬県前橋市を中心に7日間開催されました。本校写真部は今年も出品する事が出来、17年連続の出場です。出品した作品は、昨年本校を訪れたカリフォルニア州フェアフィールド市の学生と本校の生徒が交流している写真です。

本校生徒が茶道のもてなしや、書道を教えている和やかな雰囲気が伝わってくる写真です。撮影した尾前駿也君(長坂中出身)も「3年生で出場できて大変嬉しい。是非後輩もこの伝統を守って来年の大会にも出場してもらいたい。」と話していました。



電気工事コンテスト関東大会出場



全国ものづくり大会の関東地区予選が9月14日神奈川県産業技術短期大学の西キャンパスで開催された。本校からは山梨県予選を勝ち抜いた3年生河下優斗君(若草中出身)が出場した。与えられた課題をいかに正確に且つ迅速に施工出来るかが勝敗の分かれ目。毎日放課後約2時間の訓練を行った結果、まずまずの仕上がりまで上達し、大会に臨んだ。大会当日は30℃に迫る気温の中、寸法出しの墨打ちや、器具の配置

は確実に課題を完成し、16名参加中2番目で仕上がった。仕上がりは上出来に見えたが、2カ所のミスが得点に響き残念ながら6位入賞を逃した。

本人も非常に残念がっていた。卒業後も電気工事に関係した仕事に従事する予定です。

U R L <http://www.kai.ed.jp/nirasakith/>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp